

学会だより

◇ 幹事会

開催期間：平成 17 年 5 月 12 日～7 月 19 日

春季・秋季合同大会の開催に伴い、今年度の春季幹事会は郵送ならびに電子メールを利用して行った。

出席者：会長 喜多村啓介，副会長 谷坂隆俊，吉田薫，金澤章，渡邊和男，大澤良，村井耕二，高野哲夫，堤伸浩，高畑義人，富田因則，門脇光一，佐藤裕，根本博，勝田真澄，森川利信，奥本裕，川上直人，熊丸敏博，新発田修治，三上哲夫，山口淳二，阿部利徳，石川隆二，西尾剛，田部井豊，原田久也，平野久，平野博之，藤村達人，松浦誠司，丸橋亘，三位正洋，奥野員敏，北野英己，倉田のり，神山康夫，松岡信，上島脩志，山田利昭，吉田元信，武田真，田原誠，前川雅彦，岡本正弘，村田達郎，藪谷勤，山川理，渡邊（高木）洋子

1. 各常任幹事報告

- (1) 会員数は 2005 年 4 月 4 日現在，2,379 名である（内訳：普通会員 1,535 名，学生会員 412 名，外国会員 143 名，団体会員 191 名，賛助会員 43 名，名誉会員 11 名，その他 44 名）。
- (2) 日本学術会議会員ならびに科学研究費審査委員の選考方法が改められた。本学会からは幹事による投票結果に基づいて両者に関する候補者推薦を行った旨の報告がなされた。
- (3) 財団法人農学会 技術者推進委員会委員を吉田薫氏（東大）から平田豊氏（農工大）に交代したことが報告された。なお，任期は平成 17 年度から 2 年間。
- (4) 一部の地方自治体による遺伝子組換え作物の栽培規制に関して意見書を提出したこと，ならびに，関連学会による植物研究に関する内閣府への提言に賛同したことが報告された。
- (5) 英文・和文両誌の表紙のカラー化ならびに論文の体裁の変更を行ったことが報告された。また，特に英文誌における投稿数およびオンラインジャーナルのアクセス数の増加等が報告された。
- (6) 2006 年春季大会の日程が報告された。同大会は，東京農工大学農学部において以下の日程で行われる。3 月 28 日（火）13 時（幹事会），3 月 29 日（水）（一般講演会，総会，懇親会），3 月 30 日（木）（一般講演会，小集会）。
- (7) これらの他，個人情報保護法の施行に対応し，本学会における個人情報の適正な取扱いに関する方針を定めたこと（育種学研究誌第 7 巻第 2 号を参照），他の団体との共催・協賛・後援の状況，平成 17 年度日本農学会シンポジウム（10 月 15 日 東大）等について報告がなされた。

2. 議事

- (1) 第 2 回（平成 16 年度）論文賞の選定：幹事会の議を経て次の 2 論文に決定した。
〈日本育種学会論文賞 第 3 号〉
論文名：Molecular characterization of a 313-kb genomic region containing the self-incompatibility locus of *Ipomoea trifida*, a diploid relative of sweet potato（サツマイモ野生 2 倍体種における自家不和合性遺伝子座のゲノム領域の分子的解析）
著者：Tomita RN, Suzuki G, Yoshida K, Yano Y, Tsuchiya T, Kakeda K, Mukai Y, Kowayama Y（Tomita RN, 鈴木剛，吉田和生，矢野行人，土屋亨，掛田克行，向井康比己，神山康夫）
掲載誌：Breeding Science 54 (2):165-175.
〈日本育種学会論文賞 第 4 号〉
論文名：Spontaneous brassinolide-insensitive barley mutants ‘uzu’ adapted to East Asia（東アジアに適応したオオムギのブラシノライド非感受性自然突然変異“渦”）
著者：Saisho D, Tanno K, Chono M, Honda I, Kitano H, Takeda K（最相大輔，丹野研一，蝶野真喜子，本多一郎，北野英己，武田和義）
掲載誌：Breeding Science 54 (4):409-416.
- (2) 編集委員の増員ならびにその候補者案の承認
英文誌における投稿数の増加に対応するため編集委員の増員ならびにその候補者案が諮られ，以下の 5 名が新編集委員として承認された。Ahn Sang-Nag（Chungnam National University, Korea），加藤浩（農研機構・作物研究所），小川紹文（宮崎大学・農学部），銭前（Qian Quian）（China National Rice Research Institute, China），辻本壽（鳥取大学・農学部）
- (3) 学会賞等選考委員の選出
平成 17 年度学会賞等選考委員として，三上哲夫，倉田のり，西尾剛，北野英己，上島脩志，高畑義人の 6 名が選出された。次点は，原田久也，山田利昭，平野久，門脇光一の 4 名。
- (4) 地域活動案の承認
各地域の活動計画ならびに予算案が提案され，承認された。

集会の案内

◇ 不二たん白質研究振興財団 公開講演会 「大豆のはたらき—これからの食生活を考えるために—」

- I. 開催日時：平成 17 年 10 月 27 日（木）午後 1 時～5 時
- II. 会場：東京商工会議所 4F 東商ホール（東京駅丸の内側徒歩 10 分）〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2

III. 講演内容：

1. 作物としての大豆—その育種における可能性—北海道大学教授 喜多村啓介
2. 大豆加工食品の変遷と将来 岩手大学助教授 塚本知玄
3. 大豆ペプチドの栄養と生理作用 京都府立大学教授 中坊幸弘
4. 大豆たん白質の多様な姿—構造, 食品機能, 生理機能—京都大学名誉教授 鬼頭誠

IV. 申し込み：先着 500 名。聴講は無料。申し込み締め切り 10 月 14 日。Fax または郵送にて。

V. 問い合わせ・申し込み先：不二たん白質研究振興財団
住所：〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町 1 番地 不二製油株式会社内 Tel: 0724-63-1764, Fax: 0724-63-1756
担当：上田, 福田

研究助成公募の案内

◇ 不二たん白質研究振興財団 平成 18 年度 助成課題募集

- I. 研究者の範囲：大学等およびこれに準じる研究機関に所属する研究者。
- II. 特定研究（共同研究）：1. 特定研究の奨励分野：21 世紀の高齢社会における人の健康の維持や病気の予防等に期待される大豆たん白質および関連成分の基礎あるいは活用に関する領域の共同研究を対象とする。2. 研究助成額および研究期間：1) 助成額は単年度で 500 万円（採択予定件数約 1 件）。2) 研究期間は平成 18 年 4 月より原則として 3 ヶ年。3) 応募ご希望の方は予め事務局に連絡。
- III. 一般研究：1. 研究領域と分野：1) 研究領域は大豆たん白質および関連成分に関する研究を対象とする。2) 研究分野：イ. 食品科学・食品工学（遺伝・育種に関する研究, 食品の成分・品質に関する基礎研究, 食品の加工・利用, 非食品工業への利用に関する研究など）、ロ. 栄養科学（栄養に関する生化学・生理学など）、ハ. 健康・臨床栄養に関する科学（健康の増進, 疾病の予防と治療に関する研究など）。3) 萌芽的研究および新進気鋭の研究者（40 歳以下）の研究について、選考の際配慮する。2. 研究助成額および研究期間：1) 助成額は 1 件 100 万円見当を基準とする（採択予定件数約 25 件）。2) 研究期間は原則として平成 18 年 4 月より 1 ヶ年。
- IV. 応募方法：特定研究の申込みは、先ず氏名、所属機関名、役職名、機関所在地、〒番号、Tel 番号を Fax 又はハガキにて平成 17 年 11 月 18 日までに事務局へ連絡。折返し募集要項および応募書類を送付。一般研究の募集要項および応募書類は、平成 17 年 9 月より <http://www.fujioil.co.jp/daizu/> からダウンロード可能。郵送希望の場合は平成 17 年 11 月 18 日までに事務局まで連絡。折返し募集要項および応募書類を送付。応募

書類に必要事項を記入の上、平成 17 年 12 月 2 日までに事務局まで提出。提出された応募書類により、学識経験者からなる選考委員会による選考を経て採否を決定。

V. 問合せ・申込先：〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町 1 番地 不二製油(株)内(財)不二たん白質研究振興財団事務局 上田, 福田 Tel: 0724-63-1764, Fax: 0724-63-1756

各賞推薦の案内

◇ 日本農業研究所賞候補者推薦の依頼

このたび財団法人日本農業研究所より第 22 回（平成 17 年度）日本農業研究所賞受賞候補者の推薦依頼がありました。つきましては日本育種学会から候補者を推薦したいと存じますので、会員の皆様からの推薦をお願いいたします。推薦される方は、日本育種学会賞候補者推薦の要領で推薦書を作成し、下記送付先までお送りください。なお、選考の結果、本学会からの推薦が決定した場合には、推薦者の方に、依頼者からの所定の様式での推薦書の作成をお願いいたしますのでご承知おき下さい。推薦書送付先（日本育種学会庶務幹事）：〒060-8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目 北海道大学大学院農学研究科 金澤章 Tel: 011-706-3873, e-mail: kanazawa@res.agr.hokudai.ac.jp
締切日：平成 17 年 9 月 30 日

談話会だより

◇ 近畿地区談話会

近畿作物・育種研究会第 159 回例会を下記の要領で開催した。また、午後の例会発表前の時間を利用して平成 17 年度総会を合わせて開催した。総会では、平成 16 年度の事業報告、決算報告ならびに平成 17 年度の事業計画、予算案がそれぞれ審議され、承認された。

研究会ではダイズ 3 課題、イネ 4 課題、ナタネ、ゴマ、オオカナダモ、コムギがそれぞれ 1 課題発表された。課題の中には、ダイズの「青立ち」の要因解析のための現地調査、酒米好適米の栽培技術など、地域に密着したテーマから、浮稲の節間伸長やゴマのオイルボディの構成タンパク質の解析など、新しい研究の萌芽を感じさせるテーマが紹介された。また、特別講演をお願いした高村氏からはアフリカ農業の基盤づくりのための人材育成プログラムを豊富な実例とともに紹介していただいた。

近畿作物・育種研究会第 159 回例会

日時：平成 17 年 7 月 9 日 10:30 ~ 16:30
会場：神戸大学農学部

一般講演

1. 来田康男・米谷正・上川信行（兵庫農林水技総 C）大

豆種子発芽試験方法の改善

2. 杉本琢真・吉田晋弥・塩飽邦子・杉本三季祐（兵庫農林水技総C）兵庫県の丹波黒ダイズ栽培ほ場におけるダイズ茎疫病のレース分布
3. 辻本泰弘¹・白岩立彦¹・佐藤順子¹・田中良典²・堀江武¹（1. 京都大院, 2. 滋賀県）ダイズ「青立ち」現象の発生原因に関する現地実態調査
4. 加藤恒雄（近畿大生物理工）イネの穂型を表す一指標としての穂重心指標
5. 石井尊生¹・崎山弘樹¹・石川亮²・上島脩志¹（1. 神戸大農植物育種, 2. 奈良先端大バイオサイエンス）野生イネ由来の種子脱粒性, 穂の開帳性, 種子色を支配する遺伝子のマッピング
6. 笹山大輔・東哲司・南森隆司・安田武司（神戸大院自然科学）浮稲節間組織における酸が誘導する成長とエクспанションとの関係
7. 大橋善之¹・今井久遠²・岡井仁志³（1. 京都府丹後農研, 2. 京都府南丹農改良普及C, 3. 京都府農総研）酒造好適米「祝」に対する打ち込み式代かき同時土中点播栽培技術の実用性
8. 山川裕徳・秋田重誠（滋賀県立大環境）ナタネ（*Brassica napus* L. 品種ななしぶぎ）の収量決定機構の解析
9. 新見愛・種坂英次・吉田元信（近畿大農）ゴマ種子オイルボディ構成タンパク質の免疫学的解析
10. 高柳周・長谷川博（滋賀県立大環境）オオカナダモの硝酸イオン吸収部位について
11. 高橋知佐¹・森直樹²・上島脩志¹・石井尊生¹（1. 神戸大農植物育種, 2. 神戸大農植物遺伝）普通系コムギならびにその祖先種でみられたコムギミトコンドリアマイクロサテライト座における多様性

特別講演

高村奉樹（元京都大学アフリカ研究資料センター）アフリカ農業の現状と発展への課題—東・西アフリカでの農業, 農村社会の支援協力から—

◇ 北陸育種談話会

（日本作物学会北陸支部との共催）

第42回講演会・学会賞受賞講演・シンポジウム

日時：平成17年7月10日（日）・11日（月）

会場：上越市市民プラザ

北陸作物学会賞授賞講演

- (1) 水稻の安定多収栽培要因解析による北陸地域の活性化（功労賞）折谷隆志（富山県植物資源研究所）
- (2) 大規模水稻育苗施設における育苗管理方法の改善による福井良食味米の普及（功労賞）小島守夫（福井県経済農業協同組合連合会）
- (3) 気象変動下においても品質が優れる良食味的水稻早

生品種「てんたかく」の育成（学術賞）「てんたかく」育成グループ（富山県農業技術センター）

- (4) 多収でルチン含量が改善されたそば新品種「とよむすめ」の育成（学術賞）そば「とよむすめ」育成グループ（北陸研究センター）

シンポジウム

「北陸地域を襲った2004年の豪雨と台風による農業被害の実態と作物学的解析」司会：寺島一男, 松村修（北陸研究センター）

- (1) 2004年の新潟県における豪雨と台風による農業被害の実態 水沢 誠一（新潟県農林水産部経営普及課）
- (2) 平成16年7月福井豪雨による水稻被害 笈田豊彦（福井県農業試験場）
- (3) 水稻の土砂埋没による生殖成長障害の解析～作物学会豪雨被害特別研究から～ 村井 耕二（福井県立大学生物資源学部）
- (4) 水稻葉における付着泥土が光合成能力に及ぼす影響の解析～作物学会災害特別研究から～ 畠田隆治・園田真紀（富山県立大学短期大学部）
- (5) 2004年新潟県豪雨による水稻被害と衛星画像利用による早期被害予測 福山利範・阿部信行・塚口直史（新潟大学農学部）
- (6) 総合討論 コメントイーター：森田弘彦（北陸研究センター）

一般講演

山間地向け水稻新品種「とがとおめ」の育成：表野元保¹・蛭谷武志¹・金田宏¹・木谷吉則²・小島洋一朗¹・山本良孝³・土肥正幸⁴・石橋岳彦⁴・向野尚幸⁵・山口琢也⁵・宝田研¹・舟根政治¹（1. 富山農技セ, 2. 砺波農普指セ, 3. 技術推進課, 4. 富山農普指セ, 5. 食料政策課）／育苗日数と気温が水稻育苗の根張りに及ぼす影響：高橋渉・金田宏・吉田稔・荒井清完・守田和弘（富山県農業技術センター）／晩植栽培における水稻の施肥反応：後藤明俊・笹原英樹・重宗明子・三浦清之（中央農研・北陸研究センター）／着粒数増加型コシヒカリ同質遺伝子系統を用いた収量性の検討：宝田研¹・小島洋一朗¹・山本良孝²・蛭谷武志¹（1. 富山県農技セ, 2. 富山県技術推進課）／ホストストレス下でのイネの登熟性と穂首維管束との関係：中川論（新潟大学大学院自然科学研究科）／モデル選択によるコシヒカリ玄米タンパク質含有率予測モデルの最適化：金高正典¹・奈良悦子²・東聡志²（1. 十日町地域振興局農業振興部, 2. 新潟県農業総合研究所）／登熟前半におけるコシヒカリの稈・葉鞘のNSC含有量が収量および品質へ及ぼす影響：山口泰弘¹・塚口直史²・井上健一¹（1. 福井県農業試験場, 2. 新潟大学農学部）／水稻品種「コシヒカリ」と「ゆめみづほ」の茎葉に蓄積された非構造性炭水化物およびデンプン含量：小谷俊之・黒田晃（石川県農業総合研究センター）／穂の遮光処理が米粒の外観

品質に与える影響について：千葉雅大・松村修（中央農研北陸研究センター）／イネ第5染色体に座上する玄米外観品質に関わるQTLの遺伝分析：蛭谷武志¹・福田真紀子¹・山本良孝²（1. 富山県農技セ、2. 富山県技術推進課）／穂肥施用方法が「越淡麗」の玄米品質に及ぼす影響：金田智（新潟県農業総合研究所作物研究センター）／炭水化物供給能がイネの各種白未熟粒の発生に及ぼす影響：中川博視・田中大克・田野信博・永昌秀樹（石川県立大学）／直播栽培における、もみがら粘土、くん炭粘土の施用が収量と倒伏に及ぼす影響：大滝昂秀¹・三浦慶則¹・池田武¹・佐藤悌治²（1. 新潟大学農学部、2. 黒崎白土工業）／*Tos17*による突然変異系統からの白葉枯病罹病性突然変異の選抜：青木秀之¹・山本剛¹・宮尾安藝雄²・廣近洋彦²・矢頭治¹（1. 中央農業総合研究センター・北陸研究センター、2. 農業生物資源研究所）／水稻の高温登熟性に関する検定法と品種の評価：石崎和彦（新潟県農業総合研究所作物研究センター）／7.13新潟豪雨による冠水および土砂流入が水稻の生育・収量に及ぼした影響：水沢誠一¹・阿部徳文²・仲山和久²・萩野孝司²・東聡志³・金高正憲⁴・奈良悦子³（1. 新潟県経営普及課、2. 長岡農業普及指導センター、3. 新潟農総研作物研究センター、4. 十日町農業普及指導センター）／佐渡における2004年台風15号による潮風害(1) 水稻の出穂期および収穫時期の違いが収量・品質へ及ぼす影響：佐藤徹・金井政人（新潟県農業総合研究所佐渡農業技術センター）／合鴨を放飼した水田における土壌の窒素含有量とコシヒカリの収量および品質：鯨幸夫・谷口朋之（金沢大学教育学部）／水稻栽培におけるリン酸利用率向上に関する研究：藤本由里子¹・鯨幸夫¹・田代教昭²（1. 金沢大学教育学部、2. チョップ旭肥料（株））／飼料イネ新品種「信交507号」の育成：久保田基成¹・高松光生¹・中澤伸夫¹・百瀬義男²（1. 長野県農事試験場、2. 長野県畜産試験場）／飼料イネの省力低コスト栽培法 1. 催芽条件、播種量と生育、収量について：湯川智行・高畑良雄・元林浩太（中央農研・北陸研究センター）／飼料イネ栽培における水管理方法と地耐力、収量：高畑良雄・湯川智行・元林浩太（中央農研・北陸研究センター）／石膏施用、サブソイラ施工および狭畦栽培がダイズの生育、収量、出液中のウレイド含有量と子実の抗酸化活性に及ぼす影響：萩原達彦¹・鯨幸夫¹・登内良太¹・梶美菜子¹・畑中博英²（1. 金沢大学教育学部、2. 石川県農業総合研究センター）／重粘土転換畑における畝立直播栽培がエダマメの呈味成分に及ぼす影響：片山勝之・高橋智紀・細野達夫（（独）農研機構・中央農研一・北陸研究センター）／有機資材の表面散布が雑草の抑制とダイズの生育、収量に及ぼす影響：梶美菜子・登内良太・鯨幸夫・萩原達彦（金沢大学教育学部）／ダイズの子実肥大期の生育経過としわ粒発生率の関係：井上健一¹・高橋正樹²（1. 福井県農業試験場、2. 福井県立大学）／生育初期における土壌の過湿ストレスが大豆しわ粒の発生に及ぼす影響：荒井清完¹・高橋渉¹・鍋島

弘明²・野村幹雄³・守田和弘¹（1. 富山県農業技術センター、2. 新川農業普及指導センター、3. 高岡農業普及指導センター）／大豆コンバイン収穫における青立ち株抜取り指標：守田和弘¹・高橋渉¹・鍋島弘明²・野村幹雄³・荒井清完¹・岩井昭衛⁴（1. 富山県農業技術センター、2. 新川農業普及指導センター、3. 高岡農業普及指導センター、4. 元富山県農業技術センター）／水害が大豆の生育・収量・品質に及ぼす影響について：田村良浩¹・阿部聖一²・市川岳史²（1. 新潟県経営普及課、2. 新潟農総研・作物研究センター）／長野県における湿田栽培に適した新規水田転換作物の選定とその栽培法第1報エンサイの栽培特性について：細井淳・袖山栄次（長野県農事試験場）／ウワバミソウにおける茎抽出液の粘度：鈴木正一・久田孝（石川県立大学）／海洋深層水を基材にした葉面散布剤（肥料）の開発西川賢治¹・出合忠宏²・葭田隆治¹（1. 富山県立大学短大部、2. 東陽商事）／ASSESSMENT OF IRRIGATION WATER QUALITY BY USING PRINCIPAL COMPONENT ANALYSIS IN AN ARSENIC AFFECTED AREA OF BANGLADESH: Rezwanul Mahmud¹・Naoto Inoue¹・Riffat Shaheen²・Kaori Fujita³・Masakazu Kato³（1. Shinsyu Univ., 2. Dhaka Univ., 3. Gifu Univ.）／パン用硬質小麦新品種「ユメアサヒ」の育成：中村和弘・細野哲・上原泰（長野県農事試験場）／中華麵の硬さ（ゆで麵のび程度）と生地物性、食味官能試験との関連性について：上原泰¹・細井淳¹・細野哲¹・中村和弘¹・松中仁²（1. 長野県農事試験場、2. 作物研究所）／コムギの概日時調節環境因子としての光質：笠島真也¹・井上直人¹・山崎千夏¹・五十嵐祥友¹・藤田かおり²・加藤昌和²（1. 信州大学農学部、2. 岐阜大学連合農学研究科）／麦類の赤かび病抵抗性及びマイコトキシン産生抑制型遺伝資源の探索：細野哲¹・前島秀和²・中村和弘¹・上原泰¹（1. 長野県農事試験場、2. 東北農業研究センター）／搗精粒の各種形質が精麦白度に及ぼす影響：馬場孝秀・中村恵美子・伊藤誠治（中央農研・北陸セ）／オオムギ雲形病の異なる2レースに対する幼苗の反応と圃場罹病程度との比較：中村恵美子・森脇丈治・伊藤誠治・馬場孝秀（中央農業総合研究センター・北陸研究センター）／六条大麦「ファイバースノウ」における施肥法の生育への影響—基肥一括施肥法と表層分施肥法の比較—：土田政憲¹・山田実²（1. 福井農試、2. 現福井県農林水産部農業技術経営課）／遮光処理が普通ソバの収量成立過程に及ぼす影響：水野寛¹・萩原素之²（1. 岐阜大学大学院連合農学科（信州大学）、2. 信州大学農学部）／ダットンソバと普通ソバにおける光酸化抵抗性の器官間差異：井上直人・平川聖子・藤田かおり・笠島真也・加藤昌和（信州大学農学部）／ダットンソバにおける一重項酸素寿命にかかわる化学物質間相乗作用の検出：藤田かおり¹・井上直人²・秋山美展³・加藤昌和¹・笠島真也²（1. 岐阜大連農（信州大学）、2. 信州大学農学部、3. 秋田県総合食品研究所）／ライムギ市販品種における諸形質の品種内変異と特性評価：仲谷侑

子・春日重光・船越裕子・松本理絵（信州大学農学部附属AFC）／ソルガム×スーダングラスのF2集団における再生性の評価：松本理絵・春日重光・仲谷侑子・船越裕子（信州大学農学部附属AFC）／ソルガム・スーダングラス市販品種における再生性の品種間差異：春日重光・仲谷侑子・船越裕子・松本理絵（信州大学農学部附属AFC）／引き抜き抵抗値によるソルガムの選抜効果：船越裕子・春日重光・仲谷侑子・松本理絵（信州大学農学部附属AFC）／レタスとハクサイの発育速度に及ぼす低UV-B照射の影響：山崎千夏¹・井上直人¹・笠島真也¹・五十嵐祥友¹・藤田かおり²・加藤昌和²（1. 信州大学農学部, 2. 岐阜大学連合農学研究科）／レタスにおけるUV-B領域の発育速度に対する作用スペクトル：五十嵐祥友¹・井上直人¹・山崎千夏¹・笠島真也¹・藤田かおり²・加藤昌和²（1. 信州大学農学部, 2. 岐阜大学連合農学研究科）

日本育種学会会員異動(2005.4.21～2005.7.20)

◇ 普通会員入会：三上晃一郎，山下耕一郎（北海道），菅野善明（青森），塚本知玄（岩手），五十鈴川寛司（山形），磯田圭哉，小倉有紀，刑部敬史，金森裕之，北澤則之，小池晶子，小長谷賢一，小西左江子，羽片誠，益田悠，米林涉司（茨城），柏谷祐樹，清多佳子，徐美淑（栃木），下田聡（群馬），菅澤嘉明，杉江淳（千葉），談建中（神奈川），黒柳悟，森上敦（愛知），宮武宏治（三重），金谷忠（大阪），別府まゆみ（岡山），原田光（愛媛），下村克己（福岡），豊元厚志（熊本）

◇ 学生会員入会：市川直史，大西篤，太田垣駿吾，金丸京平，北崎一義，濱口祐子（北海道），川崎颯子，工藤久幸（青森），児玉悠介（岩手），秋田祐介，永井新生，堀泰子（宮城），出原慧（秋田），山崎彩香（山形），畔上千佳，内井沙耶香，遠藤真咲，大石竜也，小村敏一，島崎高嘉，徐鑫，三木雅史（茨城），山田真也（群馬），萩原悠太，古堅宗太郎，程島裕貴，保谷明江，RAHAMSHER KHAN（千葉），重永直岐，寺沢洋平，西内俊策，堀米綾子，三好健太郎（東京），角井宏行，小林大佑，須藤丈博，宮本摩由（神奈川），小林洋宜，近藤正哉，野嶋潤子，林

桂子（新潟），嶋田早苗，高岸愛（福井），花森功仁子（静岡），浅野賢治，篠崎祐介（愛知），宮角裕喜（滋賀），飯田崇伸，大木信彦，齊藤大樹，齋藤誠範，柴内佐知子，富吉満之，松井宏允，吉川貴徳，吉見麻衣子（京都），高島幸，福島見恵（大阪），中勇篤，森廣晴彦（兵庫），辻村真衣，新見愛（奈良），井上悦子（和歌山），竹内啓（鳥取），大村泰之，畑徹，濱田賢一，藤谷典志（岡山），湯尾崇史（香川），Nгуen Huan Van（愛媛），井原康晴，豊澤佳子（福岡），小松里奈（熊本），石垣元気，山川一富（宮崎）

◇ 団体会員入会：三重県立図書館（三重）

◇ 外国会員入会：AMS/KUO*MAIN-LIB（HOLLAND），TOTAL LIBRARY SOLUTIONS（INDIA）PVT. LTD.（INDIA）

住所変更等

◇ 普通会員：井川智子，小松敏憲，大同久明，田瀬和浩，南忠，村山誠治（北海道），長谷川一，柳野利哉（青森），亀谷寿昭，渡辺正夫（宮城），新井正善（秋田），久保堅司（福島），石毛光雄，一ノ瀬靖則，清水道夫，竹内善信，土岐尚子，山口博康，山中慎介（茨城），工藤暢宏（群馬），近藤恵美子，近藤浩一（埼玉），佐々英徳（千葉），草場信，佐藤尚，中谷誠，平野博之，村瀬淳子（東京），大谷基泰，島田多喜子（石川），藤森雅博（山梨），宮坂幸弘（長野），津呂正人（愛知），近藤正敏，諏訪部圭太，門馬信二（三重），加藤章夫（京都），三柴啓一郎（大阪），栗坂信之（愛媛），田宮誠司（長崎），佐々木昭博（熊本）

◇ 学生会員：天野淳二（新潟），小宮怜奈（奈良）

◇ 団体会員：社団法人日本草地畜産種子協会飼料作物研究所（栃木），徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所（徳島），大分県農林水産研究センター（大分）

逝去

田野茂光（千葉，普通会員）

慎んでご冥福をお祈りいたします。